

住信・松下フィナンシャルサービス株式会社 様

システムインテグレーションサービス 導入事例



●本カタログに記載されている会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中に記載されているシステム名、製品名などには必ずしも商標表示(TM,®)を付記していません。

富士通エフ・アイ・ピー株式会社

<http://jp.fujitsu.com/fip/>

■ご質問、ご相談は下記窓口まで

第一販売推進部

〒105-8668 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 TEL(03)5730-0744

北海道支社	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西2-1 札幌時計台ビル	TEL(011)251-7886
岩手支店	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通り3-1-2 盛岡第一生命ビル	TEL(019)651-0221
東北支社	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-1-41 カメイ仙台中央ビル	TEL(022)222-4599
仙南支店	〒989-1201 宮城県柴田郡大河原町大谷字町向126-4 Orga(オーガ)	TEL(0224)53-4031
関東支店	〒330-9510 埼玉県さいたま市大宮区錦町682-2 大宮情報文化センター	TEL(048)642-2700
多摩支店	〒190-0012 東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア	TEL(042)523-0471
神奈川支店	〒220-8127 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1-1 横浜ランドマークタワー	TEL(045)222-5940
長野支社	〒380-0813 長野県長野市鶴賀緑町1403 大通り昭和ビル	TEL(026)238-3150
中部支社	〒456-0023 愛知県名古屋市中区熱田区六野2-3-3 熱田ビル	TEL(052)889-7630
関西支社	〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル	TEL(06)6209-7350
和歌山支店	〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田1-1-19 阪和第一ビル	TEL(073)474-8500
中国支社	〒730-0021 広島県広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル	TEL(082)541-2100
九州支社	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南2-1-9 ヤマエ博多駅南ビル	TEL(092)473-6361
鹿児島支店	〒892-0844 鹿児島県鹿児島市山之口町2-30 鹿児島第一海上ビルディング	TEL(099)222-9702

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

富士通エフ・アイ・ピー株式会社



幅広い金融サービスの提供を続ける総合ファイナンス会社、住信・松下フィナンシャルサービス株式会社。

基幹システムの最適統合で、運用コスト低減とBPRの推進を実現。

導入背景

- クレジット・リース事業統合などの経営環境の変化
- 基幹システムの二重運用による、開発・運用コスト増大
- サブシステム乱立のためシステムの複雑化と柔軟性低下

導入効果

- 基幹システムの統合による、開発・運用コストの大幅削減
→ 1年間約2億5千万円削減
- システム最適化による、業務フローの見直しとBPRの推進
- データの一元化と利用部門・お客様へのサービスレベル向上

課題は、システム二重管理に伴う開発・運用コストの増大。

住友信託銀行グループの「豊富な金融・信託のノウハウ」とパナソニックグループの「高品質なものづくりのノウハウ」を融合し、さらなる金融サービスの向上を目指す、住信・松下フィナンシャルサービス株式会社。クレジット・リースの事業統合が行われ、その後もそれぞれの事業で別々に運用されていた2つの基幹システムが課題となっていました。ハードウェア・ネットワーク等のシステムインフラはもちろん、顧客情報など共通のデータも二重の管理が必要となり、その開発・運用コストが年を追って増大。さらに、2つの基幹システムと連携を取るためにサブシステムが乱立した結果、システム連携が複雑化し、システムの柔軟性や拡張性が低下するとともに、複数のシステムへの情報更新を行うなど、その運用に多大な労力を要していました。

この解決策として住信・松下フィナンシャルサービス株式会社では、長年にわたり同社のシステム開発・運用を行ってきた富士通FIPをパートナーとして、2つの基幹システムの統合を実施しました。富士通FIPをパートナーに選んだ理由について、住信・松下フィナンシャルサービス株式会社の武田部長は、「30年来のお付き合いですので、我々の業務の流れ、そしてシステムの中身を深く理解していただいています。システム統合をお願いするのは、富士通FIPにおいて他に考えられませんでした。」と信頼性の高さを語っています。



住信・松下フィナンシャルサービス株式会社
情報システム部 部長 武田 茂氏



住信・松下フィナンシャルサービス株式会社
情報システム部 審議役 戸部 克也氏

トータルな開発・運用コストを、年間で約2億5千万円も削減。

この基幹システムの統合による最大の効果は、二重管理に伴い増大化していた開発・運用コストの大幅削減です。請求回収、資産管理などといったコア機能はメインフレームで構築しながら、その他の機能については可能な限りオープン化することでスリム化。その結果、トータルな開発・運用コストを、年間約2億5千万円も削減することができました。さらに、データの二重管理については、共通の統合データベースを新たに構築し、全てのサブシステムに対して、共通にデータの取り出しや管理ができる仕組みを実現。これにより、データの二重更新の必要がなくなるなど、事務処理効率が向上するとともに、データの整合性の確保が実現しました。「統合データベースによって、従来は私共が作成していた統計資料を、今では利用部門が自由にデータを取り出して作成できるようになりました。また、お客様からのお問い合わせに対してもスピーディーな対応が可能になりました。」と、その効果を戸部審議役は語っています。

力をひとつに、つぎのステップへ。

大規模な上に設計思想が異なる2つの基幹システムを統合することは、容易ではありませんでした。また、今回のシステム統合に当たっては、法制度改定や今後の事業拡張への柔軟対応、事務効率化(BPR)も併せて求められていました。そこで富士通FIPでは、統合計画の初期段階より、従来の

運用で培った業務ノウハウをベースとして、さらに徹底した業務分析を実施。その分析結果に基づき、業務フローにマッチしたシステム再構築を、担当の営業・SE部門のみならず、全社を挙げた体制で臨みました。「今回のシステム構築にあたり、高品質を確保しつつ、工程の出戻りが発生しないよう、サブシステム単位でテストを実施するなど、徹底した品質・納期管理に努めました。」(富士通FIP 高田)こうした富士通FIPの対応に対して、「大変厳しいスケジュールであったにもかかわらず、品質管理の専門部隊なども派遣いただき、品質にこだわりながら、期限遵守で本格稼働することができました。」(戸部審議役)また、武田部長も、「常に当社の立場に立って、困難な時ほど高い柔軟性を発揮し、私たちを助けてくれました。これからはずっとこの関係を維持していきたいですね。」と高く評価しています。こうした信頼に応えるためにも、「今回のシステム統合は、最終ゴールではないと考えています。お客様の事業環境に合わせながら、次のステップへ向け、私共も若い人材を育成し貢献していきたいと思っています。」(富士通FIP 田中)これからも住信・松下フィナンシャルサービス株式会社の企業躍進を、富士通FIPがベストパートナーとしてサポートしていきます。

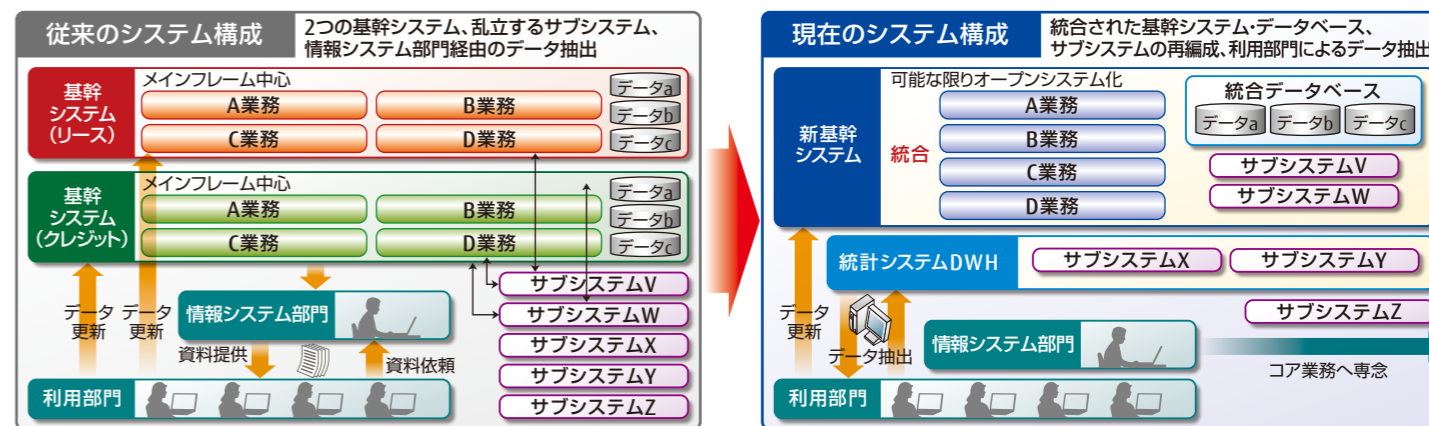


富士通エフ・アイ・ピー株式会社
西日本総支社
LCMソリューションセンター長 田中 勝紀



富士通エフ・アイ・ピー株式会社
西日本総支社 LCMソリューションセンター
担当部長 高田 臣也

サービスイメージ



お客様プロフィール

住信・松下フィナンシャルサービス株式会社 <http://www.smfc.co.jp/>

「リース事業」、「クレジット事業」、「カード事業」、「ファイナンス事業」、「信託関連事業」の5つの中核事業を通じて、個人のお客様、法人のお客様に幅広い金融サービスの提供する「総合ファイナンス会社」です。近年は、地球温暖化防止に貢献する商品(エコキュート等オール電化商品)のクレジット取扱いや、政府が推進するエコポイントへの対応等、地球環境へ配慮した取組みを積極的に展開しています。

■リース事業協会会員 ■日本クレジット協会会員

●本社所在地: 〒530-8252 大阪府大阪市北区中之島三丁目2番18号
(住友中之島ビルディング10階)

●設立: 1951年(昭和26年)10月
●資本金: 205億2,000万円

●売上高: 1,826億円 (2009年3月期)
●従業員数: 641名 (2009年3月末日現在)

